



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

会社名 オカモト株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 良幸
(コード番号 5122 東証第 1 部)
問合せ先 取締役総務部長 有坂 衛
(TEL. 03-3817-4121)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 30 日付適時開示「不適切な会計処理の判明について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 23 年 11 月 4 日付「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,132	1.8	998	△35.1	1,205	△20.1	858	△7.9
23年3月期第2四半期	31,569	4.2	1,539	△13.7	1,508	△23.7	932	△24.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △164百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △383百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.01	—
23年3月期第2四半期	8.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	66,766	37,458	56.1
23年3月期	67,941	38,606	56.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 37,458百万円 23年3月期 38,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	3.75	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	2.9	2,500	△9.7	2,900	3.3	1,600	7.9	14.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	111,996,839株	23年3月期	111,996,839株
24年3月期2Q	5,759,798株	23年3月期	3,877,979株
24年3月期2Q	107,161,834株	23年3月期2Q	110,632,513株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
<u>2. サマリー情報(その他)に関する事項</u>	<u>P. 4</u>
<u>(1) 追加情報</u>	<u>P. 4</u>
<u>3. 四半期連結財務諸表</u>	<u>P. 5</u>
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業的前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(7) 重要な後発事象	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長や政府の経済対策により、企業収益・個人消費に回復の兆しが見られるものの、長期化する株価の低迷や円高の進行などで企業収益への影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減に引き続き注力し、売上高が減少する環境下でも営業利益を確保できる体制作りを進めてまいりましたが、震災による原材料調達難や一部得意先よりの受注減、更に原材料価格上昇が相俟って一層のコストアップとなりました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は321億32百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は9億98百万円(前年同期比35.1%減)、経常利益は12億5百万円(前年同期比20.1%減)、四半期純利益は8億58百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般フィルムは、文具・手帳用や養生用の受注が堅調に推移したため売上増となりました。農業用フィルムは、震災等の復旧需要の増加により売上増となりました。壁紙は、住宅着工件数の回復に伴い、特にマンション建設が増加したため売上増となりました。フレキシブルコンテナは、夏場の電力制限を見込んだ受注増で売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの減産が続き、後半は持ち直したものの円高の影響も大きく売上減となりました。粘着テープは、原材料等の高騰により、コストアップの厳しい環境のなか、営業努力により堅調に推移しました。工業テープは、スマートフォン関連の新規受注が寄与し売上増となりました。食品用包装ラップ等は、外食産業が低迷したことにより売上減となりました。食品保存用ピチット製品は、東北地方を中心に需要が減少した結果売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は185億79百万円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益は5億73百万円(前年同期比53.4%減)となりました。

② 生活用品

コンドームは、少子高齢化や晩婚化の影響により市場が縮小し、低価格傾向が続いた結果売上微減となりました。除湿剤は、震災の影響で春先に出荷が減少し売上減となりました。滅菌器は、販売数量の下落傾向が続いていましたが、買替え需要の回復により堅調に推移しました。手袋は、医療用・原発用を中心に受注が堅調に推移しましたが食品用は売上微減となりました。シューズは、原材料高の影響を受けたものの、販売が堅調だったことから売上微増となりました。ブーツ・雨衣類は、拡販政策を積極的に展開して売場を広げ、また台風上陸の影響もあり売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は135億53百万円(前年同期比9.8%増)、セグメント利益は10億43百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円(前年同期比16.8%増)、セグメント利益は73百万円(前年同期はセグメント損失29百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は667億66百万円で、前連結会計年度末と比べ11億75百万円減少しております。

流動資産は406億56百万円で、前連結会計年度末と比べ2億35百万円の増加となりました。これは主として、たな卸資産全体で25億41百万円増加し、現金及び預金1億84百万円、受取手形及び売掛金20億96百万円が減少したことによるものです。

固定資産は261億9百万円で、前連結会計年度末と比べ14億10百万円の減少となりました。これは主として、投資有価証券が16億14百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は293億8百万円で、前連結会計年度末と比べ27百万円減少しております。

流動負債は245億73百万円で、前連結会計年度末と比べ33億73百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金10億68百万円、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円が増加し、その他1億64百万円が減少したことによるものです。

固定負債は47億35百万円で、前連結会計年度末と比べ34億円減少しております。これは主として、退職給付引当金が1億68百万円増加し、社債15億円、長期借入金10億円、その他10億68百万円が減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は374億58百万円で、前連結会計年度末と比べ11億48百万円減少しております。

これは主として利益剰余金4億52百万円、自己株式5億78百万円が増加し、その他有価証券評価差額金が9億86百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

10月に入りタイ王国で広範囲に拡大している大規模洪水により、当社グループ会社の工場も浸水被害を受け操業を停止しております。今回の洪水による被害額及び当社業績への影響に関し現在調査中であり、現段階で合理的に算定することが困難な状況であることから、平成24年3月期の通期連結業績予測につきましては、平成23年5月12日公表の業績予想を据え置くことといたします。

今後業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 追加情報

(不適切な会計処理について)

当社静岡工場において、不適切な会計処理が判明したことから、外部の専門家で構成される第三者委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不適切な会計処理が確認されました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,903	9,719
受取手形及び売掛金	20,593	18,496
商品及び製品	5,736	<u>8,019</u>
仕掛品	1,211	<u>1,347</u>
原材料及び貯蔵品	1,463	1,585
その他	1,538	<u>1,511</u>
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	<u>40,421</u>	<u>40,656</u>
固定資産		
有形固定資産	15,710	15,908
無形固定資産	383	332
投資その他の資産		
投資有価証券	10,645	9,031
その他	803	859
貸倒引当金	△22	△23
投資その他の資産合計	<u>11,426</u>	<u>9,868</u>
固定資産合計	<u>27,520</u>	<u>26,109</u>
資産合計	<u>67,941</u>	<u>66,766</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,607	16,676
1年内償還予定の社債	—	1,500
短期借入金	1,056	1,048
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	471	410
賞与引当金	739	776
その他	3,325	3,160
流動負債合計	21,199	24,573
固定負債		
社債	1,500	—
長期借入金	1,000	—
退職給付引当金	3,215	3,383
その他	2,420	1,351
固定負債合計	8,135	4,735
負債合計	29,335	29,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	422	422
利益剰余金	23,961	24,414
自己株式	△1,424	△2,002
株主資本合計	36,006	35,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,204	2,219
繰延ヘッジ損益	10	△15
為替換算調整勘定	△614	△626
その他の包括利益累計額合計	2,600	1,577
純資産合計	38,606	37,458
負債純資産合計	67,941	66,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	31,569	32,132
売上原価	23,571	24,989
売上総利益	7,998	7,143
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,502	1,420
その他の販売費	1,354	1,288
給料及び賞与	1,536	1,422
賞与引当金繰入額	296	293
退職給付引当金繰入額	75	80
貸倒引当金繰入額	—	1
その他の一般管理費	1,693	1,637
販売費及び一般管理費合計	6,458	6,144
営業利益	1,539	998
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	206	190
不動産賃貸料	187	254
負ののれん償却額	10	—
その他	33	118
営業外収益合計	445	568
営業外費用		
支払利息	34	32
不動産賃貸費用	79	84
為替差損	337	192
その他	25	53
営業外費用合計	476	361
経常利益	1,508	1,205
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除却損	54	—
投資有価証券売却損	15	—
災害による損失	—	9
環境対策費	—	44
特別損失合計	70	53
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,151
法人税、住民税及び事業税	501	352
法人税等調整額	21	△59
法人税等合計	522	293
少数株主損益調整前四半期純利益	932	858
四半期純利益	932	858

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	932	<u>858</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,210	△987
繰延ヘッジ損益	△35	△25
為替換算調整勘定	△66	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	1
その他の包括利益合計	<u>△1,315</u>	<u>△1,023</u>
四半期包括利益	<u>△383</u>	<u>△164</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△383	<u>△164</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,151
減価償却費	1,200	1,249
負ののれん償却額	△10	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	58	37
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	84	168
受取利息及び受取配当金	△214	△195
支払利息	34	32
為替差損益(△は益)	43	17
持分法による投資損益(△は益)	△11	△19
投資有価証券売却損益(△は益)	15	—
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	54	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,316	2,088
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,661	△2,550
その他の資産の増減額(△は増加)	△145	49
仕入債務の増減額(△は減少)	1,557	1,082
その他の負債の増減額(△は減少)	△89	△473
その他	△37	△44
小計	3,631	2,593
利息及び配当金の受取額	214	195
利息の支払額	△34	△32
法人税等の支払額	△983	△355
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,827	2,401
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△455	△400
定期預金の払戻による収入	205	400
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,068	△1,447
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△9	△6
投資有価証券の売却による収入	19	—
その他	△43	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,351	△1,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2	△7
自己株式の取得による支出	△371	△578
配当金の支払額	△416	△405
その他	△58	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△843	△1,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	588	△184
現金及び現金同等物の期首残高	10,408	9,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,997	9,269

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,223	12,345	31,569	0	31,569	—	31,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	410	417	1,424	1,841	△1,841	—
計	19,230	12,756	31,986	1,424	33,411	△1,841	31,569
セグメント利益又は損失(△)	1,232	1,109	2,342	△29	2,312	△772	1,539

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△772百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△779百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,579	13,553	32,132	0	32,132	—	32,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	138	150	1,522	1,673	△1,673	—
計	18,591	13,691	32,282	1,523	33,806	△1,673	32,132
セグメント利益	<u>573</u>	1,043	<u>1,617</u>	73	<u>1,691</u>	△692	<u>998</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△699百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

10月に入りタイ王国で広範囲に拡大している大規模洪水により、当社グループ会社の工場も浸水被害を受け操業を停止しております。今回の洪水による被害額及び当社業績への影響に関し現在調査中であり、合理的に算定することが困難であります。

(訂正前)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,132	1.8	1,018	△33.8	1,225	△18.8	870	△6.6
23年3月期第2四半期	31,569	4.2	1,539	△13.7	1,508	△23.7	932	△24.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △152百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △383百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.12	—
23年3月期第2四半期	8.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	66,778	37,469	56.1
23年3月期	67,941	38,606	56.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 37,469百万円 23年3月期 38,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	3.75	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	2.9	2,500	△9.7	2,900	3.3	1,600	7.9	14.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	111,996,839株	23年3月期	111,996,839株
24年3月期2Q	5,759,798株	23年3月期	3,877,979株
24年3月期2Q	107,161,834株	23年3月期2Q	110,632,513株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
<u>2. 四半期連結財務諸表</u>	<u>P. 4</u>
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報等	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(7) 重要な後発事象	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長や政府の経済対策により、企業収益・個人消費に回復の兆しが見られるものの、長期化する株価の低迷や円高の進行などで企業収益への影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減に引き続き注力し、売上高が減少する環境下でも営業利益を確保できる体制作りを邁進してまいりましたが、震災による原材料調達難や一部得意先よりの受注減、更に原材料価格上昇が相俟って一層のコストアップとなりました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は321億32百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は10億18百万円(前年同期比33.8%減)、経常利益は12億25百万円(前年同期比18.8%減)、四半期純利益は8億70百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般フィルムは、文具・手帳用や養生用の受注が堅調に推移したため売上増となりました。農業用フィルムは、震災等の復旧需要の増加により売上増となりました。壁紙は、住宅着工件数の回復に伴い、特にマンション建設が増加したため売上増となりました。フレキシブルコンテナは、夏場の電力制限を見込んだ受注増で売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの減産が続き、後半は持ち直したものの円高の影響も大きく売上減となりました。粘着テープは、原材料等の高騰により、コストアップの厳しい環境のなか、営業努力により堅調に推移しました。工業テープは、スマートフォン関連の新規受注が寄与し売上増となりました。食品用包装ラップ等は、外食産業が低迷したことにより売上減となりました。食品保存用ピチット製品は、東北地方を中心に需要が減少した結果売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は185億79百万円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益は5億93百万円(前年同期比51.8%減)となりました。

② 生活用品

コンドームは、少子高齢化や晩婚化の影響により市場が縮小し、低価格傾向が続いた結果売上微減となりました。除湿剤は、震災の影響で春先に出荷が減少し売上減となりました。滅菌器は、販売数量の下落傾向が続いていましたが、買替え需要の回復により堅調に推移しました。手袋は、医療用・原発用を中心に受注が堅調に推移しましたが食品用は売上微減となりました。シューズは、原材料高の影響を受けたものの、販売が堅調だったことから売上微増となりました。ブーツ・雨衣類は、拡販政策を積極的に展開して売場を広げ、また台風上陸の影響もあり売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は135億53百万円(前年同期比9.8%増)、セグメント利益は10億43百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円(前年同期比16.8%増)、セグメント利益は73百万円(前年同期はセグメント損失29百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は667億78百万円で、前連結会計年度末と比べ11億63百万円減少しております。

流動資産は406億68百万円で、前連結会計年度末と比べ2億46百万円の増加となりました。これは主として、たな卸資産全体で25億61百万円増加し、現金及び預金1億84百万円、受取手形及び売掛金20億96百万円が減少したことによるものです。

固定資産は261億9百万円で、前連結会計年度末と比べ14億10百万円の減少となりました。これは主として、投資有価証券が16億14百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は293億8百万円で、前連結会計年度末と比べ27百万円減少しております。

流動負債は245億73百万円で、前連結会計年度末と比べ33億73百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金10億68百万円、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円が増加し、その他1億64百万円が減少したことによるものです。

固定負債は47億35百万円で、前連結会計年度末と比べ34億円減少しております。これは主として、退職給付引当金が1億68百万円増加し、社債15億円、長期借入金10億円、その他10億68百万円が減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は374億69百万円で、前連結会計年度末と比べ11億36百万円減少しております。

これは主として利益剰余金4億64百万円、自己株式5億78百万円が増加し、その他有価証券評価差額金が9億86百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

10月に入りタイ王国で広範囲に拡大している大規模洪水により、当社グループ会社の工場も浸水被害を受け操業を停止しております。今回の洪水による被害額及び当社業績への影響に関し現在調査中であり、現段階で合理的に算定することが困難な状況であることから、平成24年3月期の通期連結業績予測につきましては、平成23年5月12日公表の業績予想を据え置くことといたします。

今後業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,903	9,719
受取手形及び売掛金	20,593	18,496
商品及び製品	5,736	<u>8,017</u>
仕掛品	1,211	<u>1,369</u>
原材料及び貯蔵品	1,463	1,585
その他	1,538	<u>1,503</u>
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	<u>40,421</u>	<u>40,668</u>
固定資産		
有形固定資産	15,710	15,908
無形固定資産	383	332
投資その他の資産		
投資有価証券	10,645	9,031
その他	803	859
貸倒引当金	△22	△23
投資その他の資産合計	<u>11,426</u>	<u>9,868</u>
固定資産合計	<u>27,520</u>	<u>26,109</u>
資産合計	<u>67,941</u>	<u>66,778</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,607	16,676
1年内償還予定の社債	—	1,500
短期借入金	1,056	1,048
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	471	410
賞与引当金	739	776
その他	3,325	3,160
流動負債合計	21,199	24,573
固定負債		
社債	1,500	—
長期借入金	1,000	—
退職給付引当金	3,215	3,383
その他	2,420	1,351
固定負債合計	8,135	4,735
負債合計	29,335	29,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	422	422
利益剰余金	23,961	24,426
自己株式	△1,424	△2,002
株主資本合計	36,006	35,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,204	2,219
繰延ヘッジ損益	10	△15
為替換算調整勘定	△614	△626
その他の包括利益累計額合計	2,600	1,577
純資産合計	38,606	37,469
負債純資産合計	67,941	66,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	31,569	32,132
売上原価	23,571	24,969
売上総利益	7,998	7,163
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,502	1,420
その他の販売費	1,354	1,288
給料及び賞与	1,536	1,422
賞与引当金繰入額	296	293
退職給付引当金繰入額	75	80
貸倒引当金繰入額	—	1
その他の一般管理費	1,693	1,637
販売費及び一般管理費合計	6,458	6,144
営業利益	1,539	1,018
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	206	190
不動産賃貸料	187	254
負ののれん償却額	10	—
その他	33	118
営業外収益合計	445	568
営業外費用		
支払利息	34	32
不動産賃貸費用	79	84
為替差損	337	192
その他	25	53
営業外費用合計	476	361
経常利益	1,508	1,225
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除却損	54	—
投資有価証券売却損	15	—
災害による損失	—	9
環境対策費	—	44
特別損失合計	70	53
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,171
法人税、住民税及び事業税	501	352
法人税等調整額	21	△50
法人税等合計	522	301
少数株主損益調整前四半期純利益	932	870
四半期純利益	932	870

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	932	<u>870</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,210	△987
繰延ヘッジ損益	△35	△25
為替換算調整勘定	△66	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	1
その他の包括利益合計	<u>△1,315</u>	<u>△1,023</u>
四半期包括利益	<u>△383</u>	<u>△152</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△383	<u>△152</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,171
減価償却費	1,200	1,249
負ののれん償却額	△10	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58	37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	84	168
受取利息及び受取配当金	△214	△195
支払利息	34	32
為替差損益 (△は益)	43	17
持分法による投資損益 (△は益)	△11	△19
投資有価証券売却損益 (△は益)	15	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産除却損	54	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,316	2,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,661	△2,569
その他の資産の増減額 (△は増加)	△145	49
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,557	1,082
その他の負債の増減額 (△は減少)	△89	△473
その他	△37	△44
小計	3,631	2,593
利息及び配当金の受取額	214	195
利息の支払額	△34	△32
法人税等の支払額	△983	△355
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,827	2,401
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△455	△400
定期預金の払戻による収入	205	400
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,068	△1,447
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△9	△6
投資有価証券の売却による収入	19	—
その他	△43	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,351	△1,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2	△7
自己株式の取得による支出	△371	△578
配当金の支払額	△416	△405
その他	△58	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△843	△1,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	588	△184
現金及び現金同等物の期首残高	10,408	9,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,997	9,269

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,223	12,345	31,569	0	31,569	—	31,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	410	417	1,424	1,841	△1,841	—
計	19,230	12,756	31,986	1,424	33,411	△1,841	31,569
セグメント利益又は損失(△)	1,232	1,109	2,342	△29	2,312	△772	1,539

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△772百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△779百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,579	13,553	32,132	0	32,132	—	32,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	138	150	1,522	1,673	△1,673	—
計	18,591	13,691	32,282	1,523	33,806	△1,673	32,132
セグメント利益	<u>593</u>	1,043	<u>1,637</u>	73	<u>1,711</u>	△692	<u>1,018</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△699百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

10月に入りタイ王国で広範囲に拡大している大規模洪水により、当社グループ会社の工場も浸水被害を受け操業を停止しております。今回の洪水による被害額及び当社業績への影響に関し現在調査中であり、合理的に算定することが困難であります。